

Report 2023

EPSYLON

Multifunctional Psychosomatic Medicine Group



医療法人イプシロン



Improving mental health for everyone

こころの健康を かかわる全ての人に

多機能型医療サービス・メンタルヘルス事業で
日本のリーディングメンタルクリニックに

私たちイプシロングループは、さまざまなメンタルヘルス事業を通じて、地域 No.1 の安心と信頼を得ながら医療スタッフも人財成長していく医療法人です。

2008 年創業以来、日々の診療を丁寧に積み上げ、チーム医療、必要な医療資源配備などを推進してきました。

今では、延受診者数 約 18 万人 / 年、年間の新患受入れ数 約 6,800 人 / 年という数の患者さんのこころの健康に携わらせていただけるまでになりました。

この使命を達成するため、私たちは、多機能型の医療サービスと幅広いメンタルヘルス事業で、日本におけるリーディングメンタルクリニックとなるべく進みます。

TOP MESSAGE 代表挨拶

次の10年へ 変化に挑戦し続ける医療法人

高尾 哲也

医療法人イブシロン 理事長
水戸メンタルクリニック 院長



「こころ」の健康が、全ての人の幸福で充実した人生の礎です。

地域社会と近い場所でメンタルヘルス診療に関わりたい、患者さんに必要な時に待つことなく受診できるようにしたい。こういう思いから、2008年、私たちは茨城県水戸市で小さなメンタルクリニックを始めました。

一人院長として、押し寄せる患者さんの診療に寝食を忘れて取り組みましたが、私一人の小さな力ではとても地域社会のニーズに応えきれませんでした。すぐに受診が数ヶ月待ちとなる状況。目の前の患者だけ診て満足する近視眼ではいけない、「まだ見ぬ多くの患者さんの思いにもお応えしなければならない」と考えました。だからこそ、私たちは診療ブースを増やし、チーム医療を推進し、心理相談やデイセラピー、就労支援、訪問看護、企業産業医支援などの多岐にわたる医療サービスを増やして、ここまで一心に運営してきました。

こころの問題は複雑です。私たちは、Bio-Psycho-Socialの3つの視点で診療をおこなっています。すなわち、外来診療による医学的アプローチに加えて、心理的アプローチ、社会的アプローチです。症状回復のみならず、心理的な回復、社会的な回復を果して初めて、真のリカバリーに至る、私たちはそう考えます。

今、40名の医師を含めた141名のスタッフたちが、

茨城県と東京都の9事業拠点から、常時10,000人超の患者さんのこころの健康に携わっています。いかに診療サービスの質を担保しながら、幅広いこころの健康問題、地域メンタルヘルス課題に取り組むかを模索し続けています。

私たちの主たる活動の場である茨城県では、まだまだ「受診難民」ともいうべき方々がたくさんおられます。まず供給サイドの我々が解決しなければならない問題と考えます。そのため、東西南北数百kmに及ぶ広い県域をカバーすべく、診療拠点を増やしています。

また同時に、多様な医療ニーズ、例えば、物忘れや依存症、周産期、統合失調症など従来クリニック領域ではフォローしなかった疾患ニーズについても、専門分化させていくべきと考えます。

さらには、より良い医療サービスを提供し、患者さんに安心と信頼を得るためには、人財採用ルートの安定化やスタッフ育成の仕組み、安心して働ける環境整備も推進する必要があります。

「こころの健康を全ての人に」の実現には道半ばですが、引き続き私たちイブシロングループは邁進してまいります。

そんな私たちの2023年(2022年7月-2023年6月)のアンニュアルレポートがまとまりました。ぜひ一読頂き、私たちの活動と思いがみなさまに伝われば幸いです。

目次

01 Structure

チームで支える
場所で支える
人で支える
集団で支える
心理で支える
職場を支える

02 Process

外来診療の力
デイケアの力
就労移行支援の力
臨床心理の力
企業支援の力
チームを支える力

03 Challenge to Society

メンタルヘルスを学ぶ人への研修協力に向けて ～心理大学との実習受け入れ～
メンタルヘルス知見の発展に向けて ～学会活動等～
新たな治療薬開発に向けて ～治験参加～
障害者が活躍する喜びづくりに向けて ～工賃作業・販売・NFT～
安心できるお産環境づくりに向けて ～周産期メンタルヘルス～
全ての精神科医療機関の発展に向けて ～日精診・茨精診活動・大学連携～

04 Business Improvement

働き方の多様化に向けて ～キャリア・人事評価・スマート HR～
患者さんに集中できる環境づくりに向けて ～業務効率化～
新たな仲間探しに向けて ～人財採用プロセス～

05 Topics

新たな診療拠点 つくば心療内科クリニック本院着工
医療情報発信のメディア協力 ～テレビ番組出演～

06 Interview

働き方を支援する ～人事労務部 部長 橋本 直子～
診療という非日常空間を設計する ～吉デザイン事務所 吉川 直行～

Structure

チームで支える

地域に根ざした
メンタルヘルス
プラットフォームとして

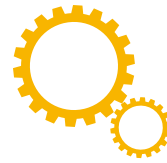
法人の基幹となるクリニックづくり。地域の特性に合わせて診療コンテンツの充実を図っています。

精神領域外来診療だけでなく、デイケアを導入し地域の患者様のニーズに合わせた医療コンテンツを拡充。障害に合わせてリワークを主にしたケア、居場所を提供する生活訓練を主にしたケアなど、地域特性に合わせて治療を行っています。

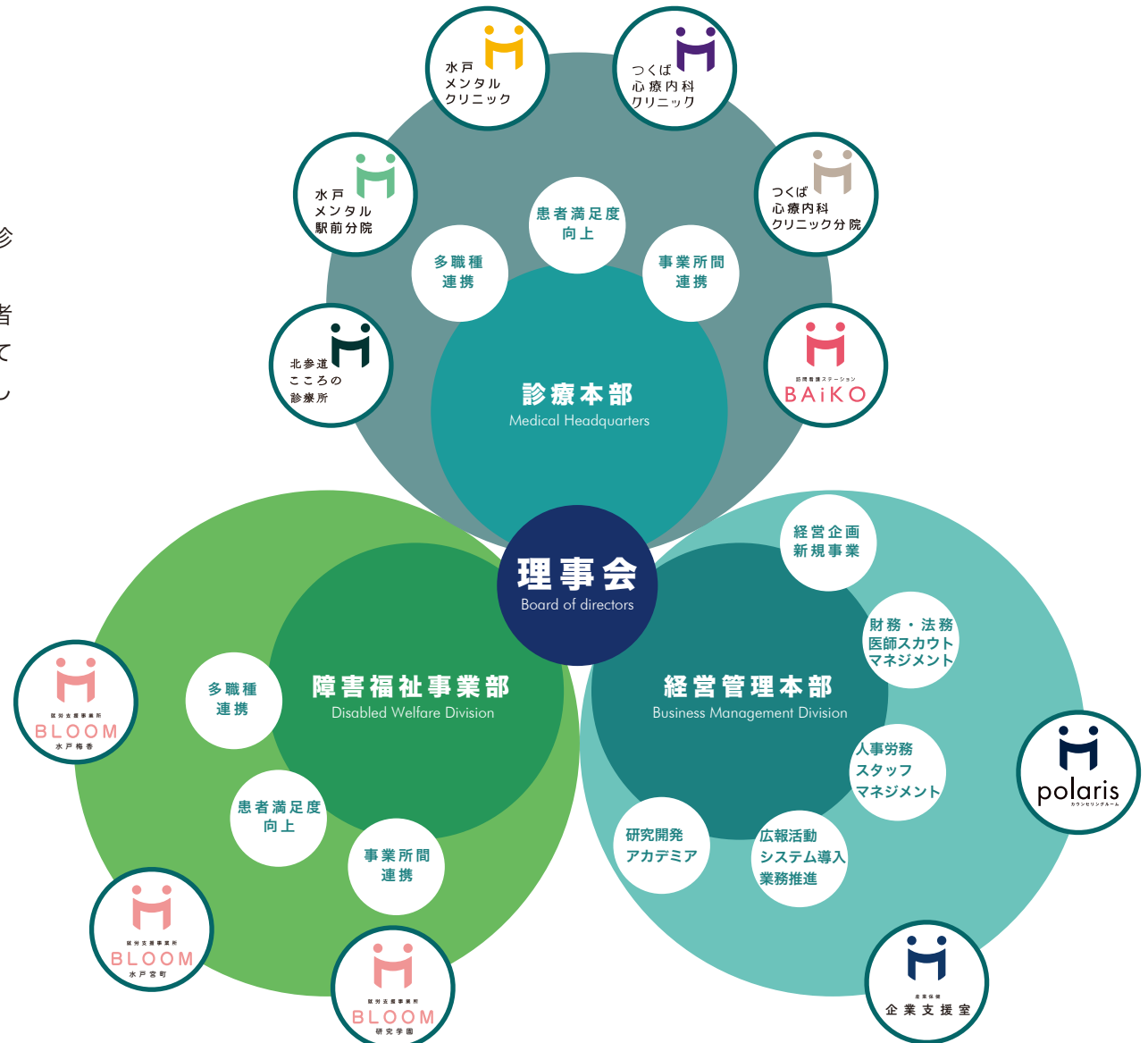
診療本部を中心に、各事業所は、患者様に適切な医療・障害福祉コンテンツを案内できるよう、**スピーディーにスタッフ間情報連携**を行い最適な提案を行っています。

また、事業所間連携でカンファレンス等の情報連携を行い、診療時におけるいろいろな問題の解決に尽力しています。

事業の拡張や効率化、人材マネジメントには経営管理本部が主軸となって動き、新たな事業の展開や人材獲得、各事業所のブランディングや広報活動、業務効率化のシステム導入など、ニーズに合わせた事業展開のための業務を行っています。



サービス品質患者満足度の向上 事業の拡張・効率化人材マネジメント



Structure

場所で支える

茨城県水戸市、つくば市
東京都渋谷区

受診を望む地域住民の方々を可能な限りお待たせすることなく、医療サービスを提供すること。これが社会インフラとしての医療機関の重要な責務であると私たちは位置付けています。

私たちの出発点となった県都である茨城県水戸市、人口集積が進み未来都市を目指す茨城県つくば市にそれぞれ診療機能に特徴のあるクリニックを配置。いずれの地域も受診までに数ヶ月を要するようなメンタル医療過疎地域でした。

逆に、小規模クリニックがひしめく東京都には、中規模クラスの診療機能と精神分析という稀な医療サービスを実装したクリニックを展開。首都圏の患者さんに新たな治療選択肢を提示しています。

私たちは、これからもメンタル医療過疎地域の受診難民解消に向けて、安心してお待たせすることなく受診できるクリニックづくりを推進しています。

地域に合わせた医療サービスを展開

水戸メンタルクリニック



診察室 5 面談室 5 テイクア 57名

水戸メンタル 駅前分院



診察室 2 面談室 1 テイクア 26名

精神医療事業所 BLOOM



梅香 20名 宮町 20名

訪問看護ステーション BAiKO



水戸市、ひたちなか市

つくば心療内科クリニック



4/3 開院
診察室 7 面談室 5 テイクア 50名

つくば心療内科クリニック分院



診察室 4 面談室 2 テイクア 28名

精神医療事業所 BLOOM

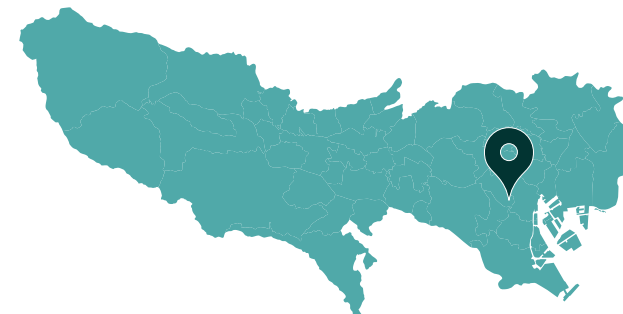


研究学園 20名

polaris
カウンセリングルーム



自費カウンセリング EAP



北参道こころの診療所



診察室 4 面談室 2

Structure

人で支える

イプシロンのチーム医療

総勢 **141** 名

チーム医療で全人的なこころの健康支援を

チーム医療とは、医師のみが単に外来診療を行うのではなく、専門職種が集い、様々な医療コンテンツを走らせながら、多職種目線で患者さんと接することで、その患者さんのこころの問題に横たわる諸問題の解決を図るためにあるのだと私たちは考えます。

医師は医師のみができることに注力しつつ、それぞれの専門職や専門機能を持ったコンテンツへのガイド役・橋渡し役にもなります。

単に症状の改善を目指すのではなく、診療チームの総合力で、患者さんの真のリカバリーを目指す。私たちはそういう目線を大事にしながら、日々の診療に取り組みます。

多様な人財力で地域メンタルヘルスを支える

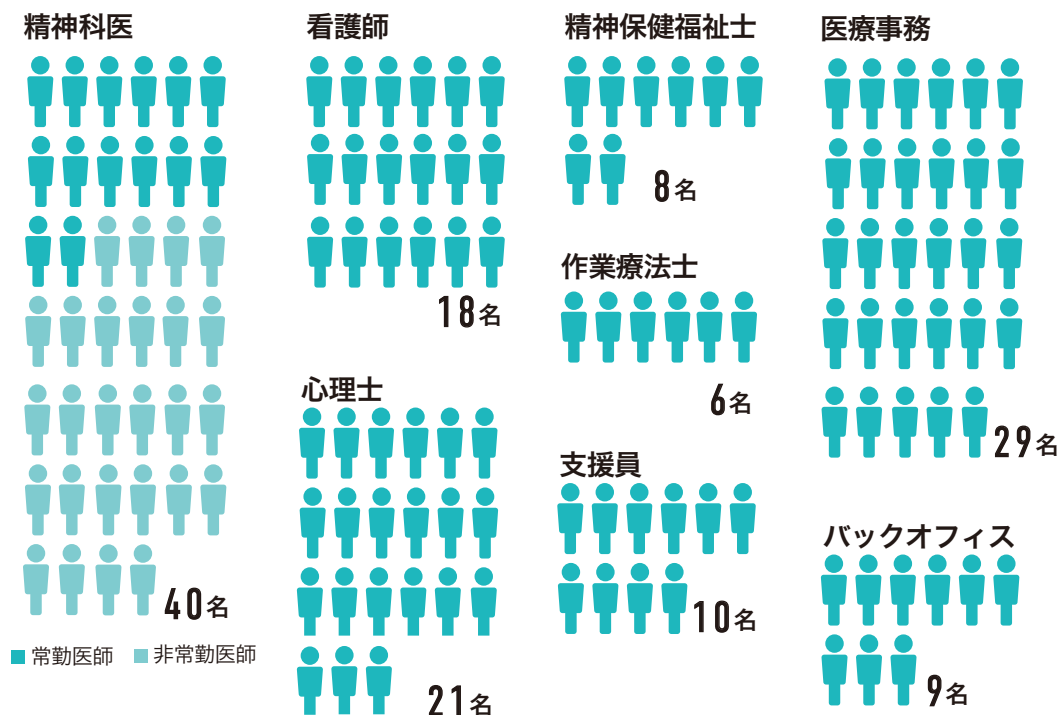
最新精神医学分野にて活躍されている方たちが診療するクリニック。

筑波大学医学域災害・地域精神医学教授

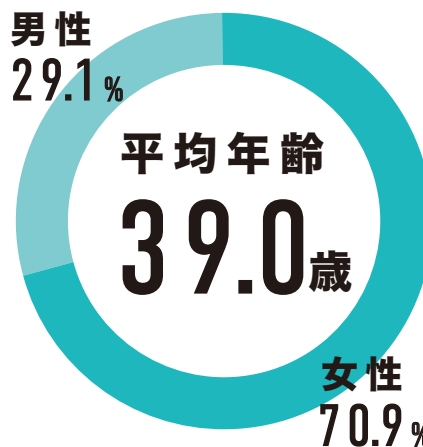
筑波大学医学医療系臨床心理医学域精神医学教授

日本精神神経学会精神科専門医・指導医

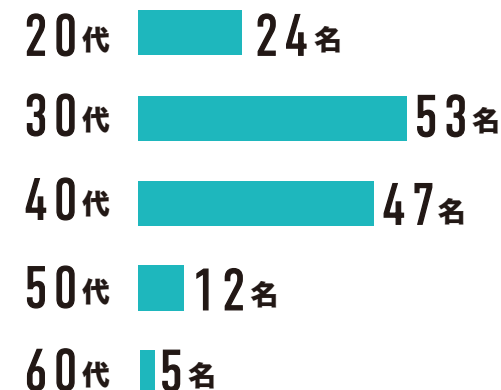
慶應義塾大学医学部 卒業



男女比と平均年齢



年代別従業員数



Structure

集団で支える

デイセラピー



デイセラピーとは、同じ疾患構造、同じ目的を志向したメンバーが集い、集団的に社会機能不全や心理的困難性からの回復を目指すもの。例えばうつ病の方が休職からの安定復帰を目指すリワークプログラムが代表的です。時代に応じて必要な Social Skill（ソーシャルスキル）は、常に変化します。私たちは、その時代時代、その個人個人に合った支援を常にアップデートしながら、これからも様々な支援法の開発・実装に取り組みます。



水戸
メンタル
クリニック
定員 **57**名



水戸
メンタル
駅前分院
定員 **26**名



つくば
心療内科
クリニック
定員 **50**名



つくば
心療内科
クリニック分院
定員 **28**名



集団の力、支え合う気持ち、 Psycho-Social な支援

こころの問題は複雑です。私たちは、Bio-Psycho-Social の3つの視点で診療をおこなっています。すなわち、外来診療による医学的アプローチに加えて、心理的アプローチ、社会的アプローチです。症状回復のみならず、心理的な回復、社会的な回復を果して初めて、真のリカバリーに至る、私たちはそう考えます。

年間デイケア延利用者数

水戸メンタルクリニック

15,518人

水戸メンタル駅前分院

2,383人

つくば心療内科クリニック

2,418人

つくば心療内科クリニック分院

7,177人

Structure

集団で支える

就労移行支援事業所ブルーム



私たちの就労移行支援が、他と比較して、異例の就職定着実績を誇るのも、医療的ノウハウに裏打ちされた支援方法や医療者との密な連携が行えるといった、私たちの総合的なグループ運営がなせる業なのかもしれません。




就労支援事業所
BLOOM
水戸梅香
定員 **20**名




就労支援事業所
BLOOM
水戸宮町
定員 **20**名




就労支援事業所
BLOOM
研究学園
定員 **20**名



患者さんの社会復帰を支援する喜び

障害者が安心して働ける状況を状況を作りだし、社会へ送り出すこと。自宅に籠っていた方が、やりがいを持って生き生きと働き、自信を取り戻す。そんな姿を見るのが私たちの喜びです。
これまで15年間の医療活動を通じて、「患者さんの社会復帰を支援する喜び」は、重要なDNAとして脈々と受け継がれています。

年間就労支援利用件数

ブルーム水戸梅香



ブルーム水戸宮町



ブルーム研究学園



Structure

心理で支える

臨床心理部



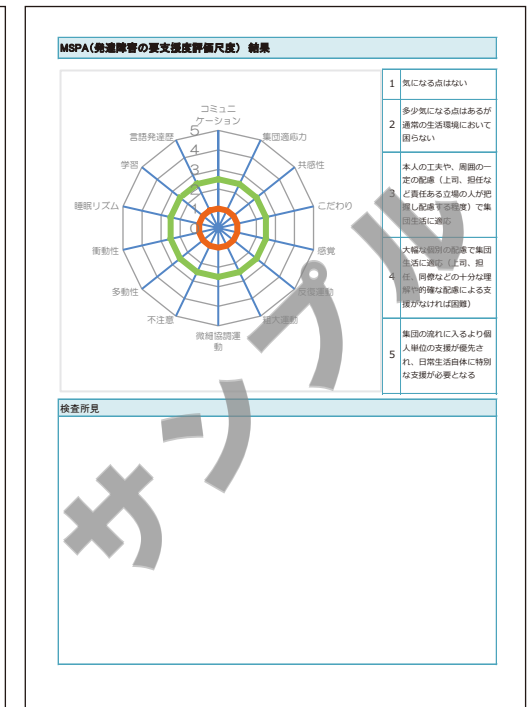
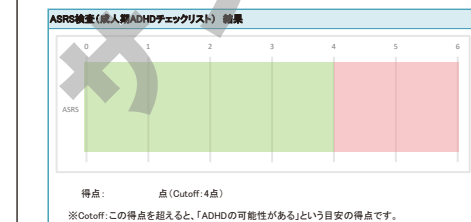
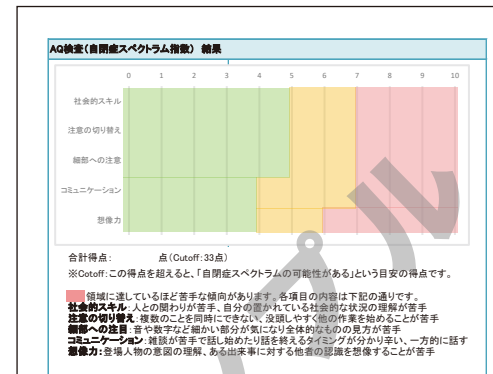
真のこころの健康回復を目指す
伴走する臨床心理

科学の一分野である精神医学と心理学は似ているようで異なります。
大まかにいって、マスメディアから普遍の科学的事実を積み上げて
Evidence-based に臨床を行うのが精神医学に対して、1対1の心理
相談を通じて心理的援助方法を実践的に経験的に、
Narrative-based にクライアントと向き合うのが心理学です。



詳細にレポートされた支援に役立つ心理検査。
集团的力動を用いた集団療法。

私たちは、この精神医学と心理学を日常の診療場面で、常に補完し合いながら、患者さんのこころの健康づくりに取り組んでいます。



Structure

職場を支える

産業保健サービス



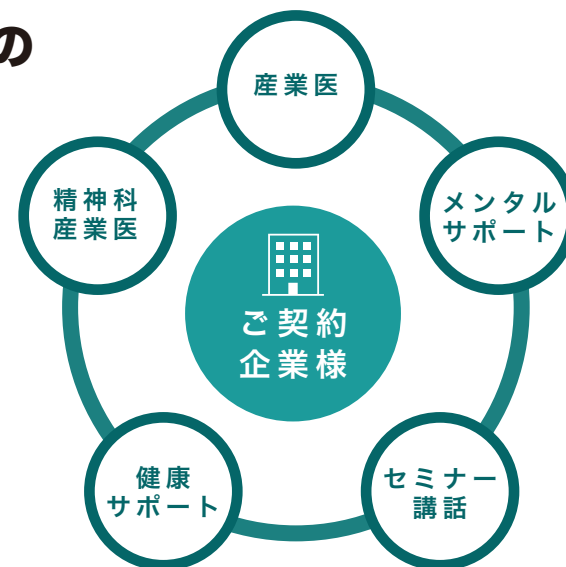
こころの問題は現場で起こっている

私たちのクリニックには、多くの働く患者さん達が訪れます。そこでは、職場特有のストレス状況があり、企業におけるメンタルヘルス対策は喫緊の課題。不調になってからクリニックを受診するのではなく、メンタル不調になる前に従業員のこころの健康支援に携わりたい。そんな想いで企業支援・産業医事業をおこなっています。今では、数多くの官公庁や企業さまからの信頼をいただいています。地方都市では、産業医の高齢化やメンタル対応のできない産業医が

多く、毎年多くのお問合せをいただきます。

しかし、私たちは、どの企業さまでも業務を受託することはありません。従業員の健康を第一に考えて、同じ熱量で一緒に伴走できる企業さまとパートナーシップを組んでいます。

医師、メディカルの専門職がサポート



私たちは、クリニックを運営している医療法人。産業医や保健師、精神保健福祉士などの専門職があなたの会社の健康経営をサポートします。

ご契約企業



など

Prosece

外来診療の力

受け入れる力、フォローする力



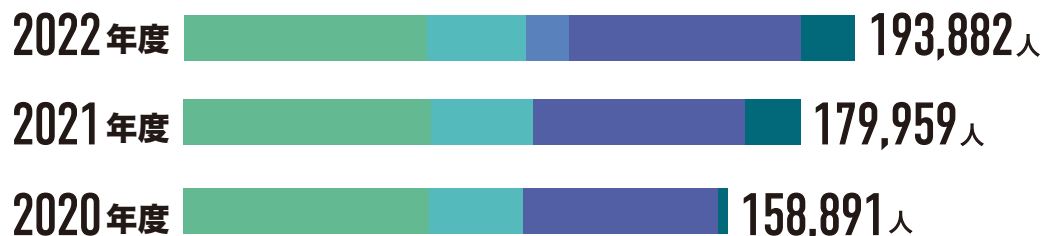
社会インフラとしての使命と責任

早期発見、早期治療の原則を持ち出すまでもなく、地域で受診を希望する方を可能な限り早く診察につなげる。それは身近な存在であるクリニックの社会的使命とも言えるものです。

一つ一つの診療を丁寧に積み上げ、地域での受診ニーズに応え続けた数字。とりわけ、年間の初診患者数が約 6,800 であったことは、特筆に値するもので、これこそがまさに、私たちが社会インフラとして地域で存在する価値証明と考えます。

また、単に受け入れるだけでなく、患者さんの安心と満足が得られたかどうかの調査においても高い評価が得られています。

年間延受診者数



水戸メンタルクリニック 水戸メンタル駅前分院 つくば心療内科クリニック つくば心療内科クリニック分院 北参道こころの診療所

初診患者受入数



初診患者満足度調査



10点満点 (NPS を改変) 2022年度 8-6月集計分

Prosece

デイケアの力

集団の力、支え合う気持ち
Psycho-Social な支援



人それぞれの生き方を支援できる力

集団で行う社会機能回復の治療プログラムのことを、診療報酬算定においては「精神科大規模デイケア」と呼ばれています。私たちはこの「ケア」という言葉を好みません。なぜなら「ケア」というのは、「医療者側がせっせと世話をして、患者さん側はその施しを受けられるもの」という印象が付きまといます。

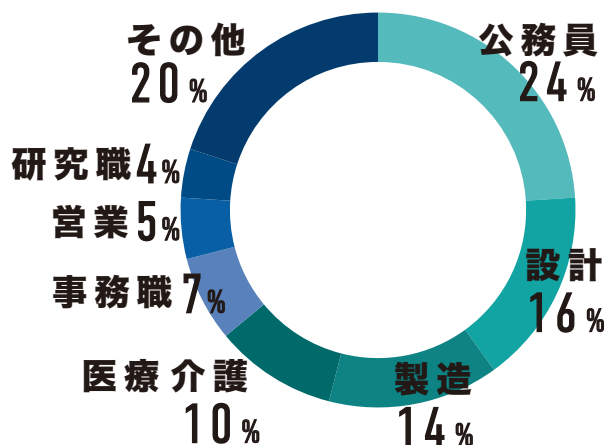
私たちは、この集団治療プログラムをデイセラピーと呼びます。すなわち、患者さんが主体的に治療に参加し、医療者はそれをサポート、ファシリテートしていくという意志の現れです。

年間延利用者数



■ 水戸メンタルクリニック ■ 水戸メンタル駅前分院 ■ つくば心療内科クリニック ■ つくば心療内科クリニック分院

利用者属性



利用者年齢層
20代 ~ 50代
平均利用期間
6ヶ月 ~ 8ヶ月

Prosece

就労移行支援の力

一人ひとりの特性に寄り添う支援



県内屈指の就職数のために

就職率の向上の為、多職種による面談に力をいれています。精神保健福祉士による面談をもとに、患者様の状況や特性を理解し、最適な訓練プログラムを提供していきます。看護師による体調管理や、就労支援員による就職情報の共有と企業訪問。訓練だけではなく就職活動のしやすさもブルームの特徴です。

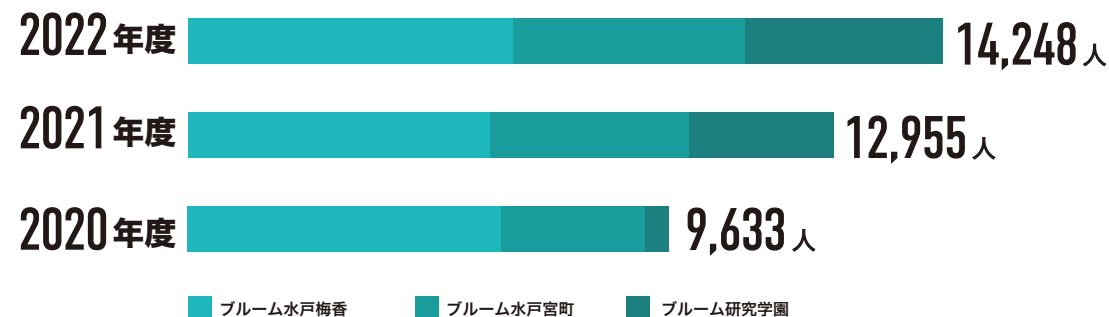
母体が精神科クリニックだからこそ出来るきめ細やかなサポートが年間就職数の向上に寄与しています。



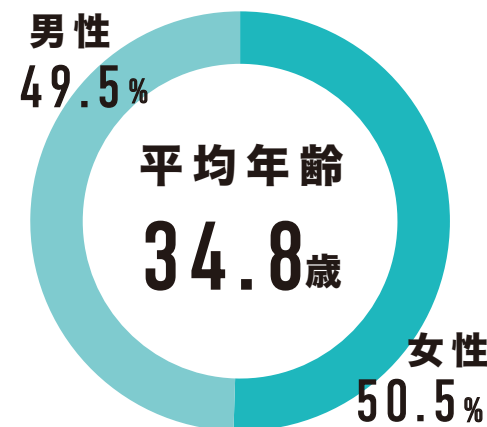
新しい取り組み

ビジネスマナーやパソコン業務訓練はだけでなく、手先を使う工賃作業なども導入し、より多くの利用者様に対応できるプログラムを行い、就労適正の向上を行っています。2022年は、水引制作やクラフト制作などが人気を博しました。

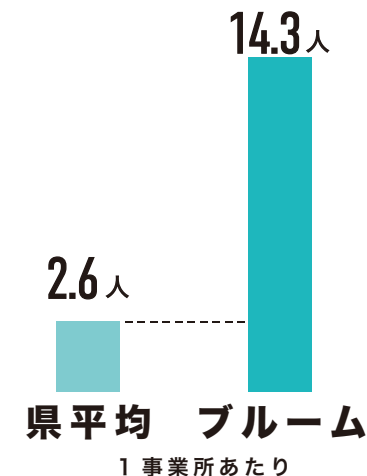
年間延利用者数



利用者様属性



年間平均就職数



Prosece

臨床心理の力

心理相談、心理検査と心理研究

心理カウンセリングや心理検査などの需要が高まり、グループ内でのクリニックでも心理相談や最新の心理検査が出来るよう、人員配置や人材育成に挑戦しています。

心理相談 延利用者数



心理検査 延利用者数



 心理の研究と研鑽 イプシロン臨床心理研究会

2022 3rd Friday Conference

- 第13回 1月21日
訪問看護の実際～事例を踏まえて～ 岩堀 NS
- 第14回 2月18日
第2回クライシスプランWEB講演会 in 北関東
独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター
主任心理療法士・博士（ヒューマンケア科学）野村照幸 先生
- 第15回 3月18日
曖昧な主訴で来院した神経発達障害のクライアントへの心理支援
松田 CP
- 第16回 4月15日
MB-FIT を利用した2名の女性利用者に関する考察 神代 CP
- 第17回 6月17日
アルコール使用障害が疑われる男性へ減酒指導プログラムを実施
した事例 藤沢 CP
- 第18回 7月15日
デイを利用後ブルーム通所し再就職を果たした事例のご紹介
引地 NS
- 第19回 9月2日
仕事に対する強い不安から通院を開始した症例に対しての
心理的な介入 真田 CP
- 第20回 10月28日
B-Rework を通して、リワークプログラムの適応に繋がった
2事例 赤平 CP
- 第20回 11月18日
認知機能を評価する最新検査『THINC-it』
ルンドベック・ジャパン株式会社様

Prosece

企業支援の力

企業と医療の橋渡しと健康経営



須藤 真紀

産業医
精神科医
つくば心療内科クリニック 院長

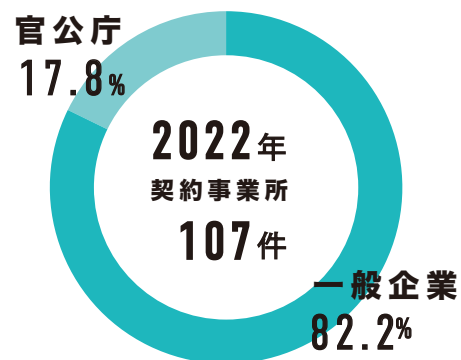
求められる産業医業務とは

産業医の役割は、「継続就労できるように支援する」こと。個人の問題より仕事の問題を優先することが必要です。本人が職場や業務に適応できる状態かどうかの判断が重要と考えます。

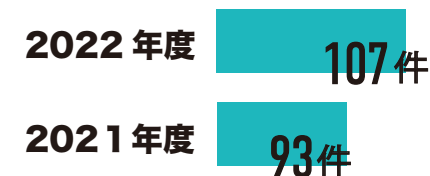
従業員の心身状態や働き方を確認して、このままの就労状態が問題ないかを適切に判断すること。それが出来るのは産業医しかいません。

一般企業の人事労務の経験を活かしながら、産業医の知識や経験による最適な支援を行ってまいります。

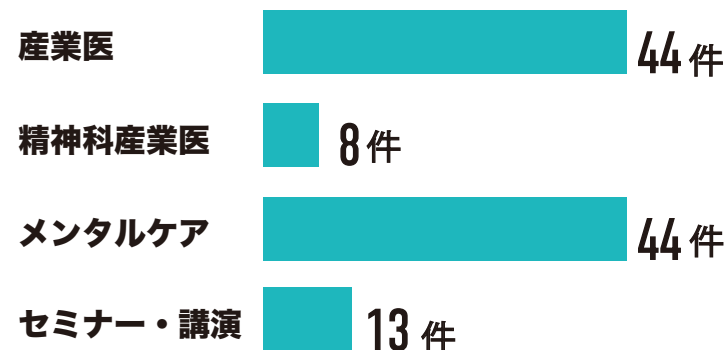
契約先属性



契約事業所数



契約サービス内訳



Prosece

チームを支える力

医療バックオフィスの役目と役割



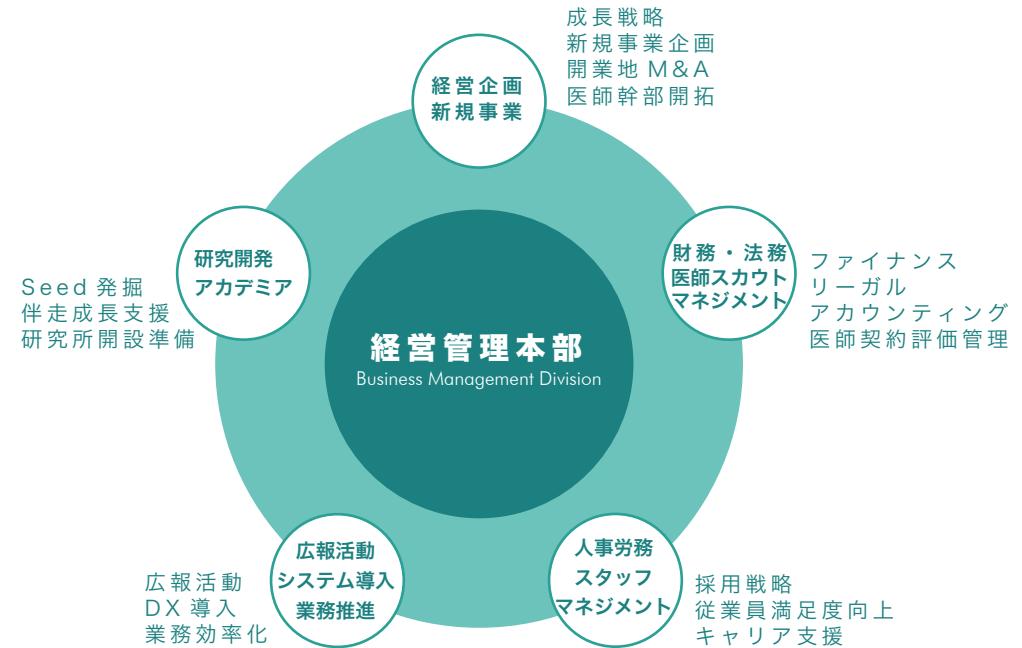
西村 誠一

経営管理本部
医師人事・財務事務部 部長



経営管理本部の取り組み

専門スタッフが得意分野を活かして新しい取り組みへ



利便性や効率化の施策事例 ツール導入

smart HR

労務手続きがカンタンに

LINE WORKS

コミュニケーション集約

勤怠管理システム

デジタル打刻で正確な勤怠



医療品質向上ため現場のサポートを

医師や看護師、心理士など各専門職が専門の業務に集中できるようにさまざまなサポートはバックオフィスで行っています。クリニックを運営する際に起こる設備やシステムなどの問題や、医師やスタッフの採用人事、各種法的手続きや申請、新規事業やアカデミアサポート等一手に引き受け、皆様が医療業務に集中できる環境づくりをすることが私たちの責務です。

Challenge to Society

メンタルヘルスを学ぶ人への研修協力に向けて

医療系学生の受入れ



指導係
真田 滯乃
臨床心理部 臨床心理士

2022年
実習生受入れ

9名

将来の医療スタッフを育成する

近年、心理職の国家資格として公認心理師が誕生しています。医療においても、患者様からカウンセリングや心理検査など心理的支援のニーズは増大しており、心理職の活躍が期待されています。当法人では、カウンセリング、心理検査、デイケアでの集団療法、就労移行支援など幅広い領域で心理職が活躍しています。

実習では心理職としての技能だけではなく、チーム医療の現状を学んでいただくことで、地域で活躍する心理士の育成にも力を入れています。



実習受入大学院

筑波大学心理学系大学院
茨城大学心理学系大学院
茨城県立医療大作業療法学科
常磐大学心理学系大学院
聖徳大学心理・福祉学部心理学科大学



研修プログラム

カウンセリング
心理検査の陪席
インテーク面接
デイケアグループワーク
心理検査の実施、所見作成 など

Challenge to Society

障害者が活躍する喜びづくりに向けて

工賃作業・販売・アート NFT



新しい支援の形 工賃作業・販売

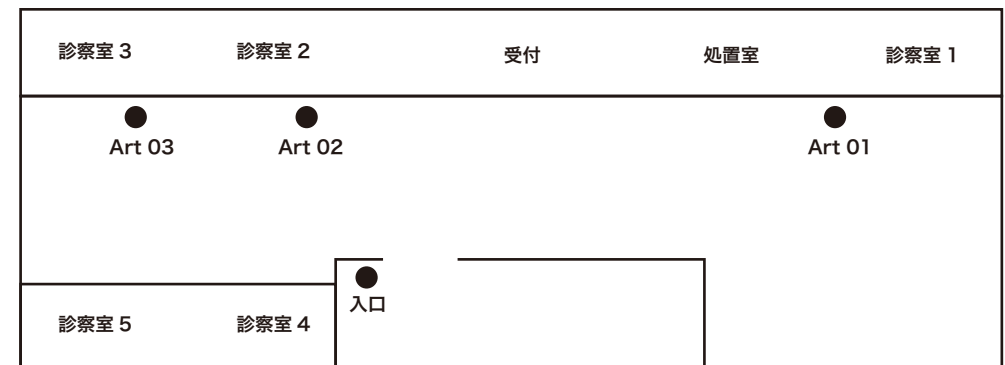
ブルーム水戸宮町から始まった工賃作業。

「利用者さんに少しでも還元できないか？」という思いから、工賃作業プログラムを導入。「お守り」「水引」「封筒」「米袋（ノベルティ）」など、「作って楽しむプログラム」を開始。好評を博しています。作ったグッズは、販売され工賃として利用者様に還元されています。



アート展示と NFT

心疾患と精神疾患を乗り越えながらアートの道へ進んだ患者様。現在は表現者としてデジタルアーティスト活動をし作品を NFT での販売をしています。彼の作品を水戸メンタルクリニックにて展示会を開催。アートの発表の場としての活用、そして同年代や同じ疾患で苦しむ患者様たちに少しでも共感や勇気を感じてもらえたら。イプシロンは障害者の方の活動支援を行っています。



Challenge to Society

メンタルヘルス知見の発展に向けて

学会活動等

医療法人イプシロンは、メンタルヘルス領域の知見の発展のため、多くの学会参加し、また研修会やセミナーを主催しています。



参加学会



2022年
研修会参加
77件

日本心理臨床学会
日本精神分析学会
日本認知・行動療法学会
日本自律訓練法学会
日本LD学会

日本描画テスト・描画療法学会
日本精神神経学会
日本周産期メンタルヘルス学会
日本うつ病リワーク協会
集団認知行動療法研究



イプシロン主催研修会

心理検査、CBT、産業保健など、精神医療の最先端の方をゲストに迎え、研修会を実施しています。今年時は時流に合わせ、オンラインでライブ配信を行い、多くの方と研鑽を積みました。



- i** 大六一志先生が語る
分かって活かそう！
WAIS-IV 実施から解釈まで
- i** 人事労務に求められる
従業員の健康管理
産業医ウェビナー
- i** 鈴木伸一先生が語る
CBTトレーニング理論と実践

合計
参加人数
274名

Challenge to Society

新たな治療薬開発に向けて

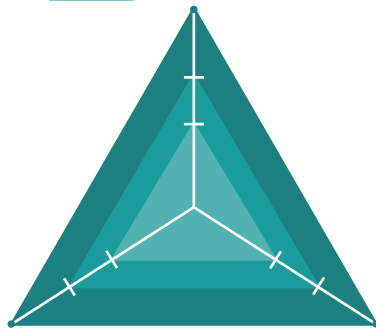
治験協力

不眠症を対象に、新しい治療薬の治験にご参加。薬物の有効性や安全性の確認試験に協力など、医療発展に積極的に協力しています。



重要な 3 要素の確認

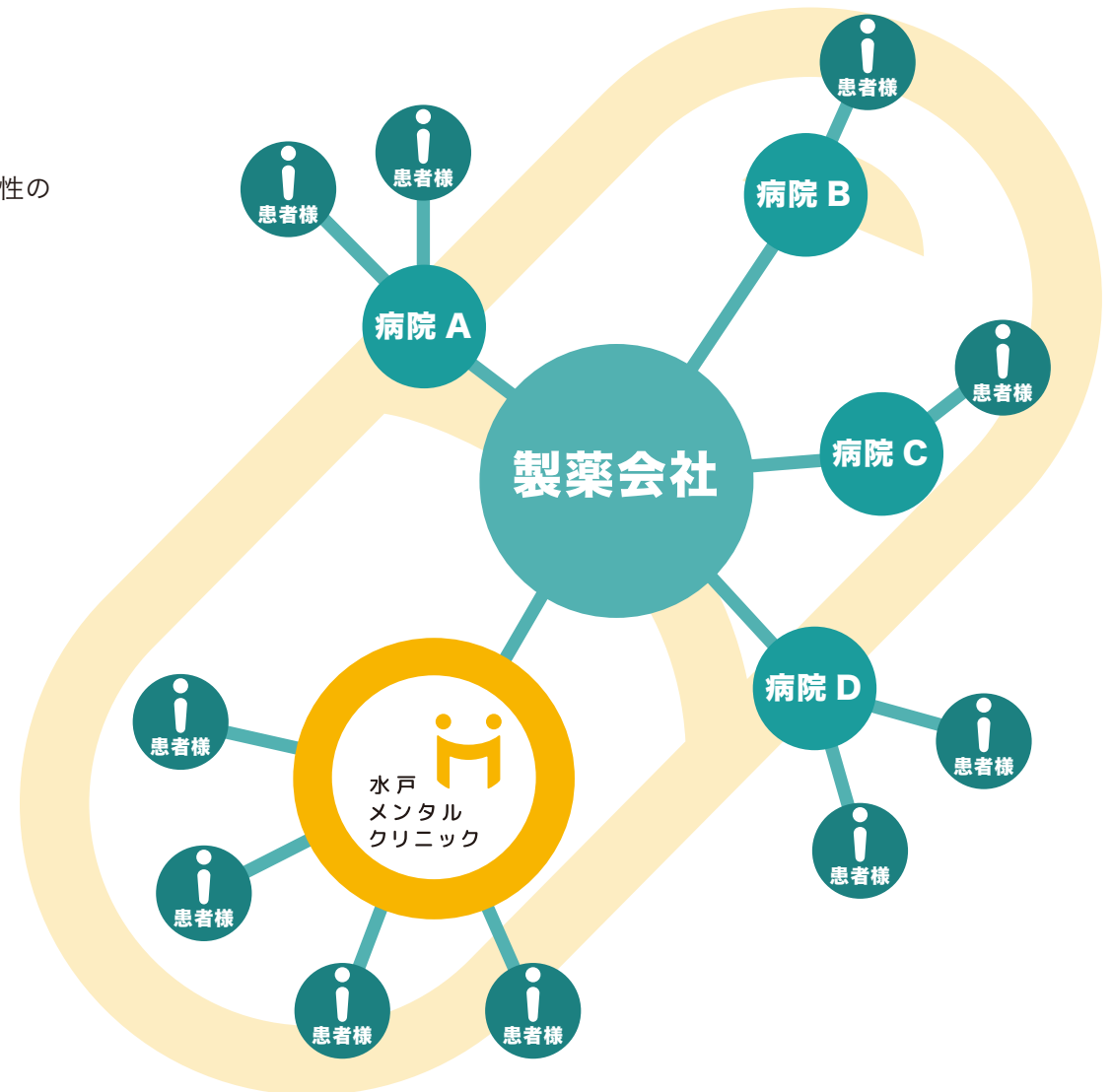
 有効性



安全性



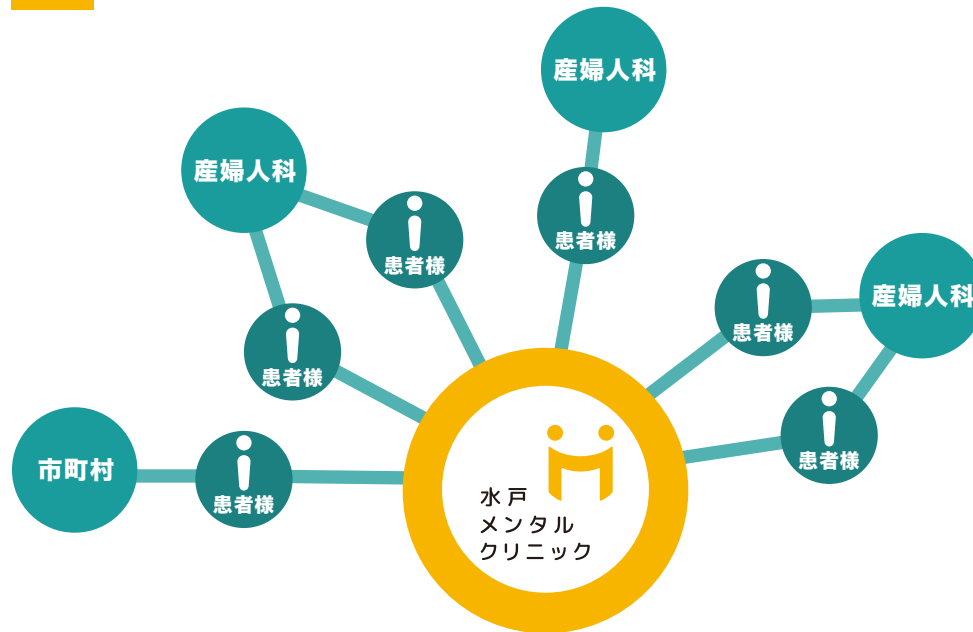
用法・用量



Challenge to Society

安心できるお産環境づくりに向けて

周産期メンタルヘルス



妊娠前から週産後にかけてのストレスによる不調に対し、地域の産婦人科、市町村専門機関と連携し必要なサポートを提供する取り組みです。



連携先産婦人科病院

石渡産婦人科病院 茨城県立中央病院
水戸済生会病院 植野産婦人科医院
青木医院 ひたちなか母と子の病院



周産期カンファレンス

定期的カンファレンスを実施し、医療機関だけでなく市町村の専門機関様等と情報交換を行い、地域医療品質の向上に努めています。



2022年12月には7市町村、6医療機関、合計25名の方が参加。ライブ配信と会場観覧のハイブリッド形式で、学会発表や事例検討、グループ討論を行いました。精神科が持つスキルや理解をこれらの方々に広く伝えていくことは、母子保健の底上げにつながり、支援者の疲弊を少しでも減らす効果があるのではないかと感じています。

Challenge to Society

全ての精神科医療機関の発展に向けて

日精診・茨精診活動

時流に合わせた、オンライン開催による研修会を開催。

所属している、日本精神神経科診療所協会、茨城県精神神経科診療所協会による大会や集談会の運営を行いました。

第70回茨城県精神医学集談会

2022年11月3日 形式：ライブ配信 申込数：91名



シンポジウム1 精神科領域における多職種連携とその育成

シンポジスト

新井 哲明 先生 筑波大学附属病院精神神経科 教授
渡部 衣美 先生 筑波大学附属病院精神神経科 助教
佐々木 恵美 先生 茨城県精神保健福祉センター長

シンポジウム2 茨城県における思春期医療の現状と課題

シンポジスト

藤田 俊之 先生 県立こころの医療センター 第一医療局長兼児童思春期部長
鈴木 直光 先生 筑波こどものこころクリニック 院長

第23回日精診チーム医療地域リハビリテーション 研修会茨城大会

2023年2月19日 形式：ライブ・オンデマンド配信 申込数：279名



メインシンポジウム 障害福祉サービスとの協働を考える

シンポジウム1 診療所で心理検査を活用する

シンポジウム2 職域メンタルヘルスとの協働を考える

シンポジウム3 特化型デイケアプログラム

特別企画 精神科診療所経営の現在とこれから

多くの先生方にご登壇いただきました。

詳しくは大会公式サイトへ >>



Business Improvement

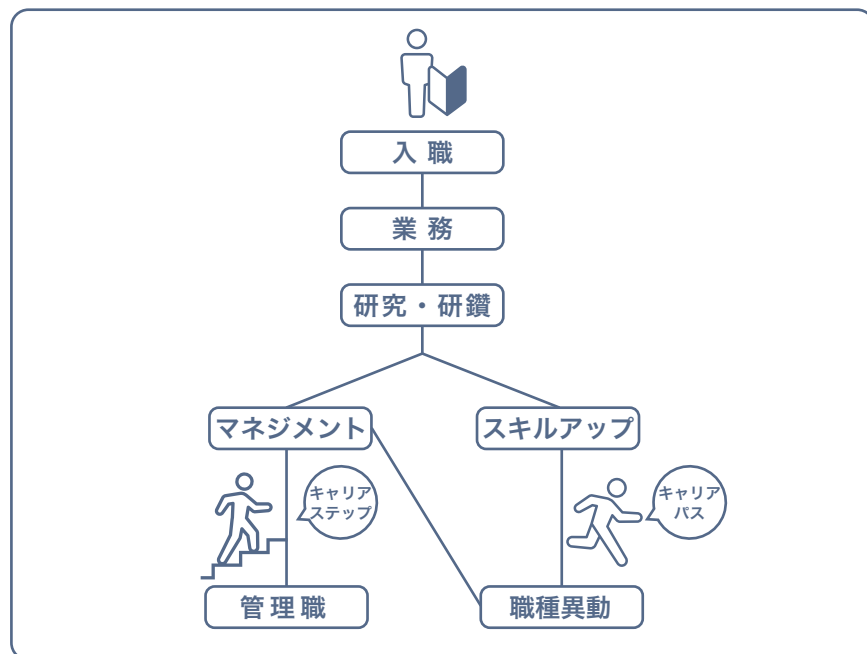
働き方の多様化に向けて

キャリア・人事評価・ツール導入

キャリアパス

当法人では一般的なキャリアステップだけではなく、やりたいことを叶えるためのキャリアステップも実績があります。

医療事務から就労支援の支援員に。デイケアスタッフから外来スタッフへなど活躍の場を広げることができます。



新しいチャレンジ ひろがる活躍の場

河村友理 精神保健福祉士 デイケア > 生活支援相談室



精神保健福祉士の活躍の場は多岐に渡る。生活の相談やカウンセリングだけではなく、外来とデイケア、外来と就労支援を繋ぎ患者様によりよい医療や支援の提供を促していく。また地域の病院やクリニックとの連携、専門機関との連携など、活躍の場は広い。彼女はデイケアで集団プログラムを学び多くの医療知識を高めた経験を活かし、今は外来で、適切なコンテンツを患者様にマッチングさせる中核を担っている。

谷津彩乃 精神保健福祉士 医療事務 > 就労支援員



元々は医療事務として入职したが就労支援事業所の立ち上げ時に支援員として異動。その後、精神保健福祉士の資格を取得。「精神的な疾患のある方を直接的に支援する仕事」がしたいという、いつかの想いを叶え、その事業その管理者になる。「イプシロンは、やってみたい・ステップアップしたい・こうなりたい」という強い気持ちと計画があればそれを実現できる法人だと彼女は言う。

Business Improvement

新たな仲間探しに向けて

人材採用プロセス

求人の情報発信や採用フローなど、専門紹介会社だけに頼らない仕組みづくりにチャレンジしています。また、現場見学やカジュアル面談を取り入れ、『まず職場を肌で感じてみたい』に応え、間口を広く設けています。求職者と法人のマッチングを調査するため、ミキワメなどの適性検査ツールを導入し、お互いにとってよい形になるよう配慮をしています。求職者が法人を知る機会、法人が求職者を知る機会を大切にし人材の獲得に向けて試行錯誤を行っています。

オウンドメディアでの採用

採用専用サイトでの問合せコンバージョン数の向上や、SNS等の活用による周知の開始など、Webを使った求職者活動は活発に行っている。

スタッフインタビューなどコンテンツの拡充も随時実施し、法人への理解向上の機会を増やしている。

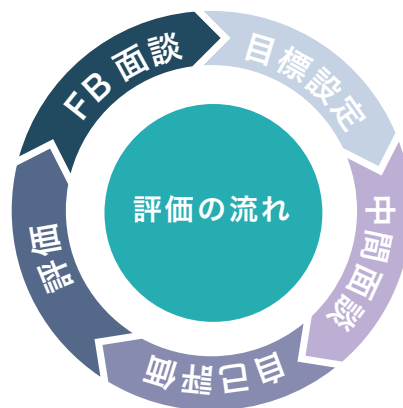


人事評価 がんばった人が評価される法人へ

法人理念と行動方針の浸透。

業務への意欲やチャレンジを評価に反映。

法人の成長に合わせて制度を導入・修正して運用を行っている。



募集要項



見学・面談



職場見学
カジュアル面談

書類選考



一次試験



ミキワメ
筆記試験
面接試験
クレペリン検査

二次試験



面接試験

内定

Topics

新たな診療拠点

つくば心療内科クリニック本院着工



2023.
4.3 MON
つくば市遠東に
開院

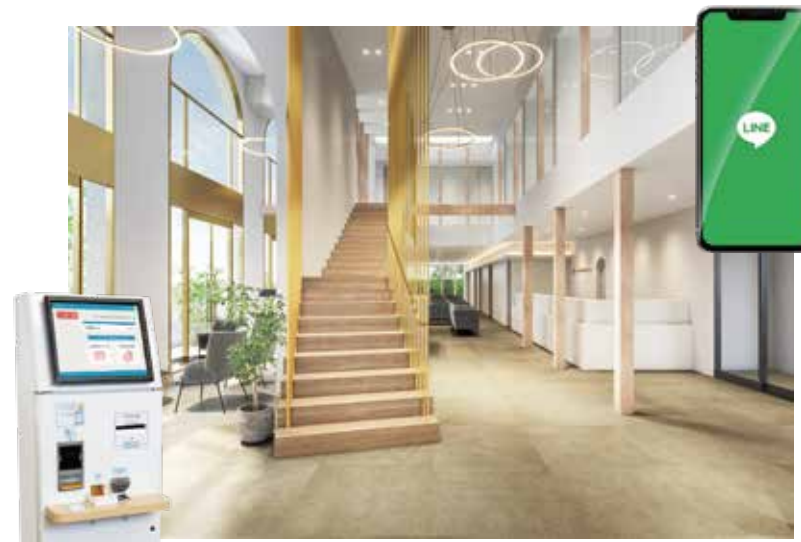
高い医療品質と利便性を向上した地域医療の最前線

遠東のつくば心療内科クリニックは本院として、精神科医師による一般外来の受診枠拡大、心理士によるカウンセリング、デイケアによるリワークプログラムの充実を行います。

患者様に少しでもリラックスしていただくため、診察室はもろん待合室の空間づくりにもこだわっています。

昨今のデジタル化への対応や、混み合う精神科の問題解決のため、『Web 予約システム』『Web 問診』『自動精算機』『デジタル診察券』を導入。患者様の利便性向上のため、地域医療のインフラとして、常に新しいことにチャレンジしています。

利便性の高いクリニックを目指して



自動精算機や Web 予約、デジタル診察券、LINE の活用

リワークに特化したデイケア



医療リワークプログラムの品質向上
産業保健サービスと連動した復職サポート

Topics

医療情報発信のメディア協力

テレビ番組出演 精神科書籍出版



TBS news 23 特集 惨事ストレス

2022年6月3日 23:30よりTBSにて放送

若年女性3人に1人が“抑うつ”。ウクライナ侵攻など戦争報道でメンタルヘルスが悪化する「共感疲労」を感じている人が増えているという調査結果が発表されました。

自宅でできる“セルフケア”とは。

当法人の臨床心理士 藤沢 聡子が ニュース 23 にてメンタルケアは どうすればいいのか？ をテーマに出演させていただきました。



出演：つくば心療内科クリニック 臨床心理士 藤沢 聡子



幻冬舎より書籍の出版

北参道こころの診療所 院長 庄司先生著 精神分析の世界が出版されました。自分でもなぜか理解できない発言や行動の原因は、過去の記憶や体験によって抑え込まれた自分の本来の感情が潜む「無意識的な領域」にあった！ 憂うつ、怒り、不安、落ち込み…。理由の分からない心の動きを精神科医が考察。「なぜかつらい」から「だからつらい」へ。自分自身の心を深く知りたい人に読んでほしい一冊。



著者：北参道こころの診療所 院長 庄司 剛

Interview

働き方を支援する

人事総務部

橋本直子 経営管理本部 人事総務部 部長



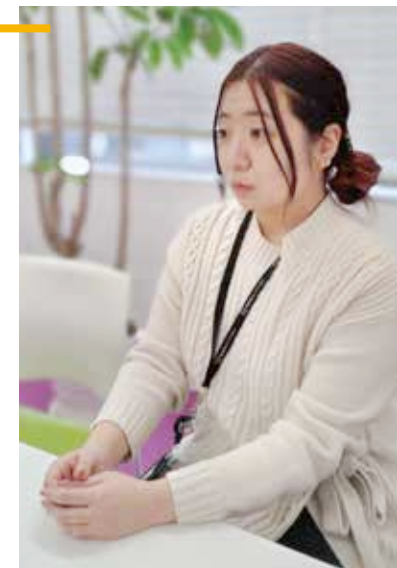
各種 IT ツールの導入

カード打刻式の勤怠管理システムでの労務管理、入職手続きや年末調整、給与明細の閲覧などが全てマイページより行える Smart HR、法人内のすべてのコミュニケーションを集約するラインワークスなど、法人で働く職員の利便性を重視した各システムを選定・導入した。慣れている紙管理からの切り替えで試行錯誤した部分もあったが、**結果的にはバックオフィス業務も大幅に効率化し、ペーパーレス化を実現した。**



人事評価制度の構築、キャリアアップ支援

組織が拡大するにつれ、成果が見える化し評価していく仕組みの必要性を感じ、人事評価制度の構築に着手。賞与についての制度を先行で運用開始した。組織の形や規模、各職員からの意見などを集約しながらブラッシュアップが日々必要であるが、成長を続ける組織によりフィットする制度を作り、**「がんばった人が正当に評価される法人」**を作ればという思いがある。また、研修参加の推奨、資格取得応援制度や図書購入補助など、自己研鑽や知識の向上を後押しする制度の積極活用を進めており、精神保健福祉士、キャリアコンサルタント、産業カウンセラーなどの各種資格の取得実績がある。**ひとりひとりが法人内外でのキャリアアップが見据えられる環境**を構築している。



Interview

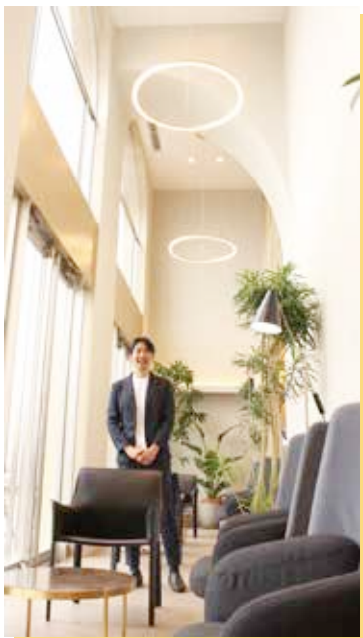
診療という非日常を設計する

つくば心療内科クリニック本院建築

吉川直行 一級建築士 吉デザイン事務所

設計コンセプトを教えてください

診療という非日常の時間を過ごすための空間は居心地の良さと、程よい緊張感を追求した空間と考える。



患者さんが病院に来たというより、サードプレイスに来たと感じられるような場所。将来的には地域の方々のコミュニティの一つとなれる場所。そんなライフステージの一つを実現できるような空間作りを目指しました。

例えるならホテルのラウンジ、劇場の待合室。ただのリラックス空間ではなく、居心地の良さとワクワク感を同時に感じられる空間として、つくば心療内科クリニックを感じてもらえたらと思います。

内装は、ベージュを基調にぬくもりを感じてもらい、真鍮色が紅を指すような指し色として空間を引き締める。エントランスは人目を気にせず入れるような配置にし、閉ざされた空間にしたくないので開放的な大きな窓や吹き抜け、各セクション

はゆとりのあるスペースづくりを心がけました。外観はヨーロッパの図書館や美術館のような落ち着いた作りをモチーフに、アーチ窓はクリニックのアイコンとなるようにしました。このアーチの丸みやサークル状のライトは患者さんのこころの解放やゆとりを表現したつもりです。



一番苦労したところは？

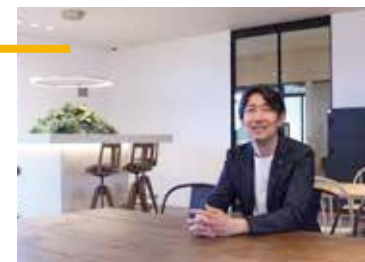
「クリニックっぽくない」と「精神医療現場の実用性」という矛盾の両立。

クリニックだけどクリニックじゃないような空間。そして医療現場だからこそその実用的な空間という一見矛盾した空間づくりを行うところに苦労しました。診察室という普段閉ざされた空間をどう作り上げるか？には悩みに悩みました。

お医者さんと患者さんだけの空間なのでどうしても緊張が先に出てしまう。そこをもっと話しやすい空間にすることが精神科・心療内科の空間づくりと考え、細部までこだわりました。例えば、心の緊張をほぐすために、居心地のよい明るさであることはもちろん、壁にRをかけ、テーブルを丸くし、お医者さんと患者さんの距離を近く感じてもらう演出。まるでカフェやレストランで雑談をしているような…そういった空間を作り上げることがとても楽しくとても苦労したポイントです。

日本のベスト建築事務所14位にランクインした感想は？

NYを諸点とするArchitizerの”30 Best Architecture Firms in Japan”において、400人以上の審査員、数十万人の一般投票から、日本のベスト建築事務所30の14位に選ばれました。400人以上の審査員から評価してもらえたこと。特に設計という作品に対する評価で選んでいただけたことに感謝しています。私はイタリアに住んでいた時があり、イタリア中の教会などの古い建物を見て回っていました。その時に感じた、聖性としたシーンとした空気感が好きで自分の設計にはその特性を採り入れています。光と影がある空間に自分なりにぬくもりや温かみを足して、建物を作り上げていく。そこに集う人たちの人生のステージを創っていく。それが私、吉川の仕事と感じています。



Corporations

法人案内

医療法人イブシロン

本部所在地	住所 〒310-0022 茨城県水戸市梅香 1-2-50 TEL/FAX 029-246-6033
施設指定登録	保険医療機関指定 自立支援医療指定 生活保護法指定 医療観察法に基づく指定通院医療機関
役員	理事長 高尾 哲也 理事 島田 晋太郎 庄司 剛 須藤 真紀 齋藤 伸明 白 成光 幹事 園尾 純一郎
従業員数	141 名 (2023 年 4 月)
開所診療所 事業所一覧	水戸メンタルクリニック 〒310-0022 茨城県水戸市梅香 1-2-50 水戸メンタル駅前分院 〒310-0005 茨城県水戸市宮町 1-3-38 中村ビル 7 階 つくば心療内科クリニック分院 〒305-0817 茨城県つくば市研究学園 5-12-4 岡田ビル 2 階 つくば心療内科クリニック本院 〒300-2633 茨城県つくば市遠東 1111-1 北参道こころの診療所 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-32-2 北参道ウイングビル 2F 就労支援事業所ブルーム水戸梅香 〒310-0022 茨城県水戸市梅香 1-2-50-5 階 就労支援事業所ブルーム水戸宮町 〒310-0015 茨城県水戸市宮町 2-4-33 小林ビル 5 階 就労支援事業所ブルーム研究学園 〒305-0817 茨城県つくば市研究学園 5-5-1 Liebe 研究学園 3 階 訪問看護ステーション BAIKO 〒310-0022 茨城県水戸市梅香 1-2-50-1 階 カウンセリングルームポラリス研究学園 〒305-0817 茨城県つくば市研究学園 5-5-1 Liebe 研究学園 3 階

患者様のために 仲間たちと歩んでいく

*For the benefit of our patients
move forward with one's companions*

専門職の連携医療で適切な医療コンテンツを患者様へ。
私たちは地域の患者様を支えるイプシロンチームです。





医療法人イプシロン

法人本部

〒310-0022
茨城県水戸市梅香 1-2-50

お問合せ

代表番号 / FAX

029-246-6033

法人公式サイト

<http://epsilon.jp/>

